

社会資本整備審議会 建築分科会 建築環境部会 建築物エネルギー消費性能基準等小委員会

議事要旨

1. 日時 令和4年6月29日（水）14：15～14：40

※WEBシステムによる会議方式

2. 出席者

〈建築物エネルギー消費性能基準等小委員会〉

田辺委員長、秋元委員、伊香賀委員、澤地委員、鈴木（大）委員

鈴木（康）オブザーバー、高井オブザーバー、林オブザーバー、上木オブザーバー、富樫オブザーバー

3. 議題

- ・共同住宅等の外皮性能の評価方法の見直しについて
- ・住宅の仕様基準の簡素合理化・誘導仕様基準について
- ・共同住宅等の外皮性能に係るZEH水準を上回る等級について

4. 議事要旨

3つの議題についてそれぞれ以下とおり審議が行われた。

議題 共同住宅等の外皮性能の評価方法の見直しについて

事務局より資料8について説明を行った。本議題に対する主な意見は以下のとおり。

- ・アルミ樹脂複合サッシは、断熱性能はいいが、耐火性能としては厳しく、まだまだ十分な選択の余地がない。業界への働きかけや省庁横断での総合的な判断を期待している。

議題 住宅の仕様基準の簡素合理化・誘導仕様基準について

事務局より資料9、資料9別添について説明を行った。本議題に対する主な意見は以下のとおり。

- ・設備間のトレードオフができるようにすべきではないか。
- ・床暖房を仕様基準に追加してほしい。
- ・コージェネレーション設備を仕様基準に追加してほしい。
- ・色々な選択肢を考慮できる仕様基準は理想ではあると思うが、高みを目指すような住宅になっ

てくると組み合わせは多様になってきて、すべてを網羅するような万能な仕様基準にすると複雑化してしまう。設計の入り口でどのような技術を導入すればどのくらい省エネ化が図れるか等の目安としても使ってもらうために割り切りが必要ではないか。

- ・ 2025年の省エネ基準適合義務化を見据えて建築確認手続きが円滑に進むように、住宅性能表示制度等の各種制度に基づく評価を活用できる仕組みを検討してほしい。

議題 共同住宅等の外皮性能に係るZEH水準を上回る等級について

事務局より資料10について説明を行った。本議題に対する主な意見は以下のとおり。

- ・ 共同断熱等級6、7は非常に厳しい水準。
- ・ 特に、等級7の仕様例として外壁の両面断熱が示されているが、RC分譲マンションとしては現実離れしている。
- ・ 等級5相当の税制優遇や補助金は継続してほしい。

[問い合わせ先]

国土交通省住宅局参事官（建築企画担当）付

TEL：03-5253-8111

FAX：03-5253-1630